

二重被爆とは

1945年8月6日広島、8月9日長崎に原子爆弾が投下された。
広島と長崎で二度被爆した人は「二重被爆者」である。
「二重被爆」(2006)、「二重被爆～語り部・山口彊の遺言」(2011)
に続き、新たに見つかった二重被爆者の証言を加えた。



山口彊から世界の人々へメッセージ

核は人間の世界にあってはいけない。核は平和的に利用する(原発)と言っても技術的にも倫理的にも問題があり、事故は止まらない。核が無くならないなら、人類は滅亡に近づく。それを伝えるために、今も生かされているという「宿命」があると思っている。

2009年3月16日 山口彊

人間の世界に 核はいらない

語り遺し、語り継ぐ

故 山口彊が語り遺し、いま家族・三世代が語り継いでいる。



新たな「二重被爆」の証言者



『ヒロシマ ナガサキ 最後の二重被爆者』上映会

当上映会の収益金は国連 UNHCR 協会に寄付します

日時▶ 2025年8月10日(日) 午後2時上映開始 (30分前開場)

会場▶ アンフォーレ1階ホールにて 安城市御幸本町504-1

上映協力金▶ 1,000 円 (障がい者&18 才以下は無料) ※事前申し込み不要

後援▶ 安城市・安城市教育委員会 主催▶ 上映会 Anjo 090-1737-8429 (天野)

被爆80年、核なき世界へ「非核平和都市宣言」を――

上映会 Anjo 公式 LINE



今後の上映会
情報をご案内
します。
ぜひ、ご登録
下さい!